

各位

2019年10月

株式会社横浜八景島が参画する台湾桃園地区 水族館名称「Xpark」に決定！

国内の水族館事業者としての初の海外直営事業、2020年夏開業

西武ホールディングス傘下の株式会社横浜八景島（本社：神奈川県横浜市金沢区、代表取締役社長：竹口豊）は、台湾桃園市にて国泰人寿保险股份有限公司（本社：台北市仁愛路四段296號19樓、総経理：熊明河）（以下、国泰人寿）が進める大規模開発エリア「高速鉄路桃園駅特定区産業専用区」（以下、高鉄桃園駅前開発地区）に建設中の水族館の名称を「Xpark」（エックスパーク）に決定いたしました。なお、開業は2020年夏を予定しております。



サンゴ礁の海(仮称)

<施設名称に込めた想い>

■「これまで味わったことのない感動体験」をお届けしたい。

当施設が提供する価値は「新しいカタチの学びと感動」。ただ楽しむのではなく、ただ学ぶのではなく、『楽しみを通して学びにも繋がる』ことが当施設最大の特長です。これまで味わったことのない未知なる感動体験を、そして知ることへの喜びを、いつでも、誰とでも、何度でも無限に、初めてのよう。すべての生きものがそうであるように、この施設もまた、時代の環境変化に合わせて進化し続けていきたい。そんな想いを、未知を表す“X”（エックス）という一つのキーワードに託しました。そして、みんなが集い、楽しむ場所として“park”（パーク）を採用し、「Xpark」という施設名称が誕生しました。

<施設コンセプト>

■現実と非現実が交錯する、少し不思議な「もう一つの地球」

地球上のさまざまな場所で暮らす生きものたちの環境を、最先端テクノロジーを駆使してリアルに再現。気温や湿度、匂いや音までが緻密に計算された空間に、天井から床、水槽にまで映像演出が施された360° 圧倒的没入空間です。ゲストはただアクリル越しに生きものを観賞するのではなく、まるで本当にその場所に行ったかのような感覚を、五感を使って体感できます。もちろん主演はそこで暮らす生きものたち。環境変化に適応し進化してきた生きものたちの不思議を、あらゆる角度から魅力的に引き立たせるための展示演出も特長の一つ。この少し不思議な「もう一つの地球」は、尽きることのない人間の「知ることへの欲求と喜び」を満たす、世界でも唯一無二のエデュテインメント施設を目指します。

「Xpark」ゾーンイメージ(一部)



【サンゴ礁の海(仮称)】

360° 鮮やかなサンゴ礁の海を感じるゾーン。まるで海の中に潜ったような体験ができる。



【クラゲイリュージョン(仮称)】

光と音とクラゲが織りなす幻想的で芸術的な異空間。ふわふわと舞うクラゲの光景は神秘的ですらある。

<株式会社横浜八景島が掲げる未来へのビジョン>

当社では「生きものを通じて世界に笑顔と感動を」というコーポレート・スローガン実現にむけ、これまでの水族館運営のノウハウに革新性をプラスして、日本のみならず世界の方々にファンになっていただけるようにグローバルな展開を推進しています。

桃園開発地区は、台湾の北に位置する桃園市に大規模開発（約22万㎡）として国泰人寿がそのプロジェクトを進めており、エリア内にはアウトレットモール、ホテル、シネコン、ビジネスオフィス等を現在も開発中です。アウトレットモールは2019年5月に第3期分が開業しています。水族館の開業は2020年夏を予定しております。

当社では、長期ビジョンの1つである「長期的な事業基盤の確立」に基づき、『横浜・八景島シーパラダイス』をはじめとするこれまでの水族館・遊園地経営のノウハウを生かし、発展・成長に向けた新規事業への取組みを積極的に行っています。

本水族館事業に携わることで台湾との友好の架け橋となり、台湾の将来を担う子供たちの教育にも貢献し、共に歩むことが我々の事業としての成長へも繋がると考えています。

桃園での水族館事業の展開については、日本国内の水族館事業社として初の本格的な海外での直営事業展開となります。

また西武グループとしても、初の試みとなり、今後の西武グループの海外戦略および企業価値向上へも繋げてまいりたいと考えています。



<事業概要>

館名：「Xpark」

所在地：台湾桃園市中壢区青昇段462、462-1

規模：土地面積 暫定 7,378㎡

建物延床面積 暫定14,817㎡

(地下4階から地上7階 ※展示エリアは地上1階から3階)

水量：約3,000トン

開業日：2020年夏(予定)

運営：株式会社横浜八景島



外観イメージ

◆西武グループと台湾の関わり方

我々が属する西武グループは、台湾との関わりも大変深く、数々の連携を持ち、活動しています。

2015年には台湾鉄道管理局と西武ホールディングスが「包括的事業連携に関する友好協定」を西武鉄道が「姉妹鉄道協定」を締結し、大災害時の相互協力や相互の観光PR実現などの、各種施策に取り組んでいます。

また、プリンスホテルのフランチャイズ2ホテル（グロリアプリンスホテル・台北、ナイスプリンスホテル・嘉義）や営業拠点となる台北支店、またプロ野球球団西武ライオンズの交流など、さまざまな事業連携を行っています。